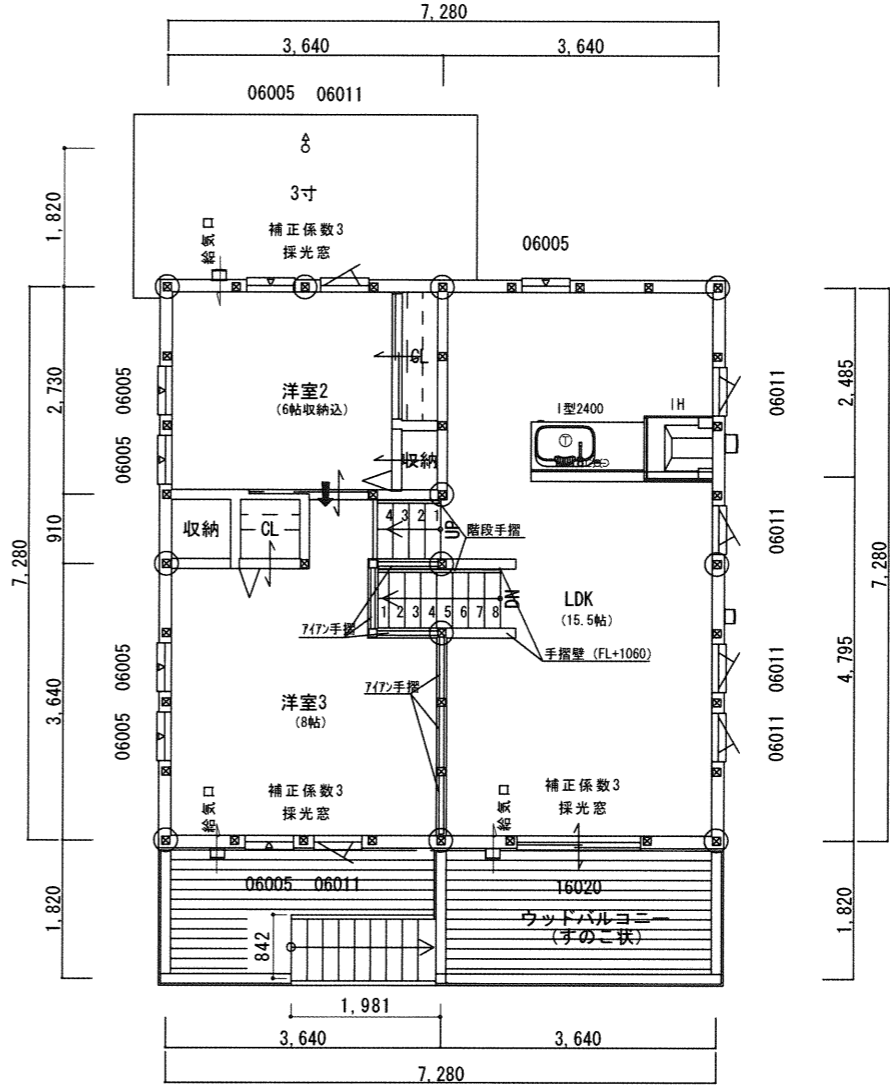


1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

2階部分は 天井空間は勾配天井  
断熱材が入っている為 小屋裏空間無し。

- ALV計算
- 洋室1 A 8.29㎡  
L 2297/4621×6-1.4=1.58  
L 1.60×2.00×1.58=5.05㎡  
V 1.60×2.00/2=1.60㎡
  - 洋室2 A 8.29㎡  
L 0.60×1.1×3=1.98㎡  
V 0.60×1.10=0.66㎡
  - 洋室3 A 13.24㎡  
L 0.60×1.1×3=1.98㎡ 計 2.88㎡  
0.60×0.50×3=0.90㎡  
V 0.60×1.10=0.66㎡ 計 0.96㎡  
0.60×0.50=0.30㎡
  - LDK A 25.67㎡  
L 1.60×2.00×3=9.60㎡  
V 1.60×2.00/2=1.60㎡

凡例	
◀	主要な出入り口
Ⓜ	防火設備 (法2条第9号の2口)
→	自然給気口
Ⓢ	換気扇 24h
↑	換気経路 (ファン・バルブ)
h=0	床段差寸法
II	給水栓
Ⓢ	湯水混合栓
Ⓢ	トラップ
●	ガス取出口

- 専用配管  
コンクリート内埋込み配管無し (排水・給水・給湯)
- 地中埋設管  
地中埋設管上のコンクリート打設無し (排水・給水・給湯)
- 排水管の形状等  
内面：平滑で肉厚の異なる管の接合無し  
排水経路による内面に段差無し  
たわみ防止：支那金物による  
抜け防止：接着接合による  
仕様：塩化ビニール
- 専用排水管  
便器は取外し可 各機器はトラップ付きとする
- 配管点検口 (点検措置)  
排水・給水・給湯管と設備機器の接合部は露出又は開口有り又は取外しとする  
給水・給湯管のバルブ及びヘッダーは床下点検口から行う
- 天井裏等への措置  
下地材：断熱材はF☆☆☆☆以上を使用する  
気密層又は通気止めによる措置を行う  
機械換気設備による措置を行う
- 壁・床・天井・建具仕上げに用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆又は規制対象外の材料を使用する

- ・給排水設備の点検  
床下点検口より洗面・浴室・トイレ配管点検可能  
天井点検口よりキッチン配管点検可能
- ・洗面室の防水措置  
床下地 構造用合板特類  
壁下地 耐水PB 12.5mm

凡例		単位	
Ⓜ	通し柱	105×105	巾 780
II	管柱	105×105	蹴上げ 195
Ⓢ	管柱 (化粧)	105×105	踏み面 210
Ⓢ	火災警報器	(パッシブの指定型式・その他光電式)	
Ⓢ	床下点検口		
Ⓢ	天井点検口		
玄関ドア	7&M、断熱フラッシュドア(D3)、複層ガラス(A12mm)		
ガラスドア	(一重) 7&M・ガラスパッキン複合、複層、低放射複層ガラス(A16mm)		
窓	(一重) 7&M・ガラスパッキン複合、低放射複層ガラス(A16mm)		

■特記事項  
※パイプスペースは、梁の位置を確認し、家具配置等を考慮してご検討下さい。

改訂内容	改訂日	承認
改訂1		
改訂2		
改訂3		
改訂4		



GA32C-N-BT-P (T)

図面タイトル 1階平面図, 2階平面図  
スケール 1/100

種類 : 平面図  
図面No :  
日付 :  
中塚篤志 一級建築士 登録番号第352737号  
作成者 検討 承認1 承認2